

サンゴ礁生態系保全行動計画フォローアップ会議開催要綱(案)

1. 目的

「サンゴ礁生態系保全行動計画」(以下「行動計画」という。)に基づき、保全行動を推進していくために、各行動の取組状況の点検・見直し及び行動計画を効果的に推進するために必要な情報共有を行うため、「サンゴ礁生態系保全行動計画フォローアップ会議」(以下「会議」という。)を設置する。

2. 検討事項

- (1) 行動計画の取組の進捗状況の点検に関すること(注1)
- (2) 行動計画の策定から5年程度後の見直しに関すること(注2)
- (3) 行動計画を推進するために必要な情報共有に関すること(注3)
- (4) その他、行動計画の効果的な推進に必要な事項

3. 構成

会議は、事務局から依頼されたサンゴ礁生態系及びそれに関連する事項に専門的知識を有する委員の他、関係府省庁、関係自治体をもって構成する。任期は原則として単年度とするが、再任は妨げない。

4. 運営

- (1) 会議に委員長を置き、委員の互選により選出する。
- (2) 委員長は議事を進行する。
- (3) 委員長に事故があるときは、あらかじめその指名する委員がその職務を代理する。
- (4) 委員長は必要に応じて、関係者等に出席を要請することができる。
- (5) 会議は、原則公開とし、議事については議事要旨等で記録を残し、公開するなどして情報公開を図る。

5. 事務局

- (1) 会議の事務局は、環境省自然環境局が務める。
- (2) 事務局運営は環境省自然環境局から事務局運営業務を受託した者が行うことができる。

6. その他

上記に定めのない事項で、会議の運営に必要なものについては別に定める。

注1) 現在の行動計画に記載されている取組の実施状況を確認・共有するとともに、記載されていない新たな課題等についても抽出し、それらの改善に向けた議論を行う。現状の把握や課題の抽出に当たっては、各地におけるモニタリングサイト 1000 の結果や社会経済的な動向など適切な指標も参考にする。

注2) 次の行動計画のための議論を行う

注3) 関係府省庁・自治体からの情報共有を期待するとともに、サンゴ礁に関する諸問題について委員らに説明してもらい、現状や課題を再認識する勉強会のような場にする 것도想定。この目的のため、年2回開催する場合、そのうちの1回は地方で開催することについても検討する。

サンゴ礁生態系保全行動計画フォローアップ会議 委員

岩瀬 文人	財団法人 黒潮生物研究財団 専務理事
鹿熊 信一郎	沖縄県水産業改良普及センター 主幹
上村 真仁	財団法人 世界自然保護基金ジャパン自然保護室 サンゴ礁保護研究センター センター長
土屋 誠	琉球大学 理学部 教授
寺崎 竜雄	財団法人 日本交通公社 観光調査部 部長
中野 義勝	琉球大学 熱帯生物圏研究センター 瀬底研究施設 技術専門職員
灘岡 和夫	東京工業大学大学院 情報工学研究科 教授
林原 毅	独立行政法人 水産総合研究センター 遠洋水産研究所 外洋資源部 外洋生態系研究室 主任研究員
日高 道雄	琉球大学 理学部 教授
古川 恵太	国土交通省 国土技術政策総合研究所 沿岸海洋研究部 海洋環境研究室 室長
山野 博哉	独立行政法人 国立環境研究所 地球環境研究センター 衛星観測研究室 主任研究員